

# まちの出来事

## 障害への理解を深める

ふれあい広場もんべつ

紋別市社会福祉協議会などが主催する福祉のイベント「ふれあい広場2007もんべつ」が9月2日、保健センター周辺で開かれました。緑日やゲームなどの楽しいイベントと、障害や福祉行政への理解を深めてもらう啓発事業を組み合わせたもので、今年も多くの方が参加。障害のある人もない人も「お互いのために」という思いやりの輪を広げました。



会場は、同センター内と駐車場、歩行者天国にしたメモリアル通りなど4カ所。このうち同センター駐車場の展示販売コーナーには「いきいき陶芸会」などが店を構え、普段の活動で製作している陶器や籠などの品物を販売して人気を集めました。



## 「油の漂着を防げ！」

総合防災訓練



オホーツク海での大規模な油流出事故を想定した総合防災訓練が9月5日、紋別港第3ふ頭東岸壁などで行われました。第一管区海上保安本部や陸上自衛隊第25普通科連隊（遠軽自衛隊）などの協力を得て、陸海空の勢力が一堂に会する大規模な訓練になりました。

訓練には25の関係機関から300人が参加。主な資機材としては巡視船3隻を含め船舶9隻、ヘリコプター3機、車両14台が投入されました。実働訓練の内容は大まかに分けて3種類。洋上での漂流油防除訓練、陸上での漂流油



## いつまでもお元気で

敬老会  
各地区で開催



9月4日から10月5日まで、市内の6地区で、75歳以上のお年寄りを対象にした敬老会が相次いで開かれています。9月14日には市民会館で市街地区の敬老会が開催され、約700人のお年寄りが訪れました。

市内最高齢102歳の落石！荒井キエさんも元気な姿を見せて、「長生きの秘訣はマージャパンだよ」と笑顔を見せました。

式典では宮川市長があいさつし「紋別市にとって経験豊富な皆さんの知恵が、ますます必要です。これからもご指導ください」と述べ、喜寿・米寿・白寿や100歳以上の方たちにお祝い金を手渡しました。

ステージでは、市内高齢者ふれあいセンターのサークルや保育園児の芸能発表が行われ、大いに盛り上がりつつありました。9月1日現在で、市内の敬老会対象者は男性千155人、女性2千2人のあわせて3千157人でした。女性が男性の約2倍になっています。100歳以上の方は3人（男性1人、女性2人）です。



防除訓練、そして陸上での回収油運搬・一次貯油訓練が手際良く進められ、参加者はそれぞれの役割や手順について確認しました。

閉会式では、対策本部長の宮川市長が講評。油流出事故への懸念を示した上で「災害対策技術を強化し、災害に強いまちづくりを進めたい」と決意を述べました。

## スカイフェスタに3千人

### 小型飛行機の曲芸飛行が人気!



「空の日」(9月20日)を記念したイベント「スカイフェスタイバル2007 in 紋別」が9日、ガリヤ地区イベント広場で開催されました。小型飛行機のアクロバット飛行(エアロパチックス)が披露されるなど、訪れた約3千人(主



催者発表)の市民を喜ばせました。

紋別空港の関係機関などでつくる紋別空港「空の日」

「空の句間」実行委員会(斉藤勉実行委員長・国土交通省東京航空局紋別空港出張所長)が主催しました。ガリヤ地区は焼きとり、フランクフルトなどの出店コーナーも設けられました。台風の影響で曇り空で、小雨がちらつきましたが、同イベント・名物のアクロバット飛行(午前、午後の2回)の時は人出はぐんと増えました。

5度目の来紋となるショールパイロット・室屋義秀さんが宙返りをはじめ曲芸飛行

行を次々と繰り出しショーの楽しさを満喫させました。道内の愛好者によるラジコン飛行機のデモフライトでは、

北見、網走、名寄、湧別などから14人が、ラジコンを操縦して鮮やかな飛行を見せていました。

## 紋別勢も活躍!

### 全日本パークゴルフ大会



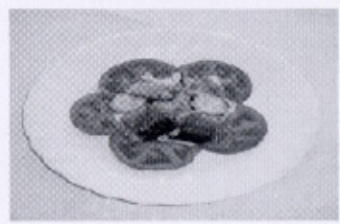
パークゴルフ界の最高峰、第13回JALカップ全日本パークゴルフ選手権大会が9月8日から2日間、紋別市上渚滑町の「紋別パークゴルフ場」と滝上町濁川の「ウッドパークゴルフ場」の2会場で開催されました。全道・全国から予選を勝ち抜いた636人がエントリーし、高レベルの戦いを展開。紋別勢も活躍し、男子では新宅誠さんが10位に入賞。女子でも田中真佐子さんが6位(入賞は5位まで)と健闘しました。

大会は幕別町に本部を置く国際パークゴルフ協会の主催第5回までは幕別町で開いていましたが、その後は10回記念大会を除き道内各地で開催されています。今回の開催は、オホーツク地域初開催でした。競技は男女とも2日間通算72ホールで争われ、男子は帯広市の萩史之さんがトータル199打で第2回大会以来2度目の優勝。女子も帯広市の吉田真知子さんが217打で初優勝を飾りました。紋別勢の新宅さんは209打、田中さんは222打で

した。初日夜、スポーツセンターで開かれた交流親睦会には選手・大会役員総勢700人が参加。オホーツク海と山の幸がテーマの飾る盛大なイベントになりました。



## オホーツク食材レシピ



### 【さんまのソテーマリネ風】

- 〈材料〉4人分
- さんま 2尾
  - 塩 小さじ1/10
  - こしょう 少々
  - 小麦粉 大さじ2
  - オリーブオイル 小さじ2
  - 酢 大さじ3
  - 白ワイン 大さじ1杯半
  - 塩 小さじ1/3杯
  - こしょう 少々
  - トマト 300g
  - 玉ねぎ 120g
  - きゅうり 120g
  - 酢 150cc
  - 白ワイン 50cc
  - 塩 小さじ1/3杯
  - 砂糖 小さじ1/2杯
  - こしょう 少々
- A
- B

※1人分 196kcal

〈作り方〉

◎トマトは半分に切り、5mmの厚さに切る。玉ねぎも半分に切り、繊維を断つようにして薄く切り水にさらしておく。きゅうりは皮をしま目にむいて5ミリの厚さの小口切りにする。Aを混ぜ合わせ、野菜をあえる。

◎さんまは3枚におろし、3cmの長さに切る。塩、こしょうをふり、小麦粉をまぶす。

◎フライパンにオリーブオイルを熱し、さんまを両面こんがり焼く。(さんまから油が出るので揚げたようにカリッとなる。)熱いうちにBに漬け込み、冷めるまでおいて味をなじませる。

図 紋別保健所健康推進課 ☎(23)3108番